

第69回 西日本 読書感想画 コンクール

九州・山口各県図書館協議会選定
指定図書

小学校低学年1・2年

※価格はすべて税込み価格

西日本読書感想画コンクールは、本を読み、感じたことや考えたこと、心に浮かんだイメージなどを絵に表現することで、読書への意欲を高め、豊かな感性、想像力を育むことを目的に毎年開催しています。前回は約30万点の応募があり、地方での開催としては最大規模を誇ります。



詳しくはこちら

おふろ、はいる？

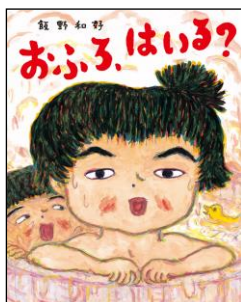
飯野和好／作

【あかね書房】1,540円

「みんなは、どんなお風呂に、はいる？」。大人から子どもまで、さまざまな人がお風呂にはまっている姿を、飯野和好がユーモラスに描きます。様々なお風呂のスタイル、歴史もありこみ、お風呂の楽しさ、気持ちよさ、日本のお風呂文化の豊かさを伝えます。いつも身近にある「お風呂」をテーマにしているので、小さな子からお年よりまで、楽しめます。読み終わったあと、「ああ、お風呂はいい！」と思える絵本です。

<選定理由>

お風呂といっても銭湯、露天風呂、五右衛門風呂、温泉といろいろあります。お風呂は日本の文化です。どんなお風呂でも気持ち良くて、ほっとします。読んでいる子どもたちも楽しいお風呂の文化を描いてほしいと思います。



かいじゅうのすむしま

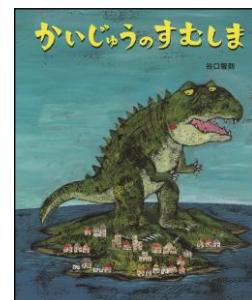
谷口智則／作

【アリス館】1,760円

かいじゅうの住む島では、大雨が降ると、かいじゅうが大きなかさをさし、日照りが続くと島に雨を降らせ、島を守っていた。でも、住民は気づかなかった。そんなある日、となりの島からミサイルがとんできた。かいじゅうは、ミサイルを自分のからだで受け止めたが、争いはおさまらなかった。かいじゅうは、静かに倒れて動かない……。この後、希望に満ちたラストで終わります。いろいろなことを考えるきっかけになる絵本。

<選定理由>

島をいつもさりげなく守ってくれているかいじゅう。でも、島に住む人々には、なかなかその優しさが伝わらなくて、かいじゅうのことをこわがってばかり。切なさや悲しみと、希望を感じて欲しいです。



キッチンカーです

オームラトモコ／作・絵

【教育画劇】1,540円

ププー。じどうしゃがやってきました。でも、ただのじどうしゃではありません。キッチンカーです。パトカーやしょうぼうしゃやミキサーしゃもやってきて……。なんとやっぱりキッチンカーです！！からさのえらべるカレー屋さんに、こだわりのスープのラーメン屋さんにピザ屋さん、メニューもいっぱい！！ーさあ、あなたはどれが食べたい？人気ののりものがつぎつぎキッチンカーに変身する絵本。パノラマも圧巻です。

<選定理由>

子どもたちが大好きな乗り物がキッチンカーに変身します。あっと驚くキッチンカーはおいしい食べ物がいっぱい。あなたはどれが一番好きですか？変身する車やたくさんメニューに想像が広がります。



ひみつの とっくん

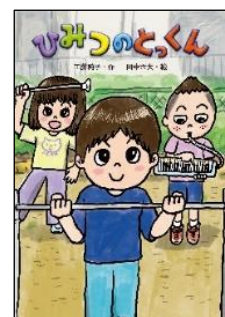
工藤純子／作 田中六大／絵

【金の星社】1,430円

ぼくは公園に行った。さか上がりの練習をしようとしたとき、ぐっちゃんに声をかけられた。「さか上がりなんて簡単だよ」ぼくは頭にきて走って帰った。翌々日も練習したが、できない。そのとき不気味な音がした。ぐっちゃんが鍵盤ハーモニカの練習をしている。「鍵盤ハーモニカなんて簡単だよ」ぼくはハツとした。ぐっちゃんとぼくは公園で練習してから登校するようになった。ある朝、ゆいちゃんが「なんで毎朝一緒なの？」と怒っている…。

<選定理由>

だれにだって苦手なことはある。あきらめずに苦手を克服しよう。友達と一緒になら大丈夫。そんな気持ちにさせてくれるお話です。



みつばちさんのティールーム

ヘイリー・バレット／文

アリソン・ジェイ／絵

蜂飼耳／訳 【徳間書店】1,980円

みつばちさんのティールームは、行列のできる人気のお店。ケーキにパイ、タルト…おいしいおかしをいただきながら、ゆったりとお茶の時間を楽しめます。ところがある日、キッチンではたらくてんとうむしたちがみんな飛んでいってしまいました。手が足りず、キッチンはめちゃくちゃ。困ってしまったみつばちさんを助けたのは…？友だちを思う気持ちを描くあたたかい絵本。おいしいおかしもたくさん登場！

<選定理由>

みつばちさんのティールームは、おいしそうで素敵なお菓子がいっぱい。でもある日働いていたテントウムシがいなくなり、厨房は大変なことに。こまっているみつばちさんを助けたのは？美味しそうなケーキやおかししたお客様の絵が素敵です。



ネズネズのおえかき

nakaban／著

【文溪堂】1,650円

ここは絵描きのネズネズの家。聞こえてくる水の音やおいしそうなパンの匂い。身近なものからイメージをふくらませて、歌いながらどんどんキャンバスに描き進めていくネズネズ。歌とともにキャンバスに広がるそうぞうの世界。いったいどんな絵ができてあがるでしょう？読んだあとは、みなさんもネズネズのように、歌いながらお絵描きしたくなるかもしれません。

<選定理由>

えかきのネズネズは、身近にあるものからどんどん絵を描いていきます。最後に描くのは…。イメージを膨らませ絵を描くネズネズに自分を重ねて楽しく描いてほしい1冊です。





雪窓

安房直子／文 長谷川あかり／絵

【あすなろ書房】1,650円

山のふもとに村に「雪窓」というおでんの屋台ができました。ある晩、タヌキがやってきておでんを注文します。タヌキは毎晩くるようになり、この店を手伝うようになりました。店主は妻と娘をなくして一人ぼっちだったので、タヌキがきてくれることで寂しさがまぎれました。雪がつもった晩のこと、死んだ娘にそっくりな若い娘がやってきたのですが、手袋を忘れて帰ります。店主が娘を思う気持ちがじんわり伝わるお話。

<選定理由>

優しくどこか不思議なファンタジーの世界。安房直子さんの素晴らしい世界観を、柔らかな絵がさらに読みやすくしてくれています。読み終わった後に、心がほんわか温まります。中学年のうちにぜひ触れてほしいです。



AIロボット、ひと月貸します！

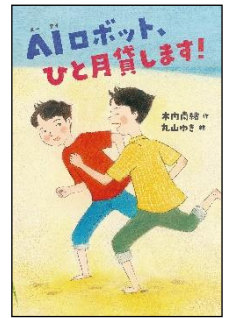
木内南緒／作 丸山ゆき／絵

【岩崎書店】1,320円

我が家にAIロボットがやってきた。名前はエイト。ぼくにそっくり。そしてぼくよりうんと優秀！最初はいろんなことをやってもらえてうれしかったけど、だんだん不安になってきて…。涙と笑いのか月が過ぎて、その日は来てしまった。心通うはずのないロボットとの確かな心の交流を描いた、胸が熱くなる作品。

<選定理由>

自分そっくりのAIロボットと主人公が入れ替わり学校に行ったりおつかいをしたり、秘密の生活を1カ月送ります。時には助かり、時には腹が立ち…。最後に二人が心通わせる場面には胸が熱くなります。



ジャージー牛のサンちゃん

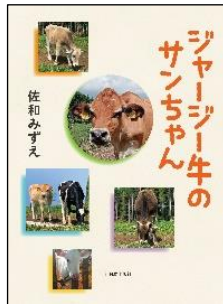
佐和みずえ／作

【新日本出版社】1,540円

ここは大分県にある放牧場の宝牧舎。「ミルクが出なくても、いずれ食肉になろうとも、生きている間は幸せでいてほしい。」その思いで、サラリーマンだった竜馬さんと加奈さんが夫婦ではじめました。その宝牧舎に引き取られたジャージー牛のサンちゃん。肉屋さん、野菜農家、料理人など、色々な人たちがサンちゃんの幸せを考えてくれています。「食べること」や「動物の命」に「ありがとう、って伝えたい」お話です。

<選定理由>

「牛の幸せってなんだろう？」大分県の牧場「宝牧舎」での山地夫妻と牛たちの本当のお話です。動物も人間もみんなが幸せに生きていくために大切なこと、今日から実践できることについても考えさせられる一冊です。



みんな、空をとべる

ジャクリーン・ウッドソン／作

ラファエル・ロペス／絵

都甲幸治／訳 【汐文社】1,980円

その年、わたしたちは空をとべるようになった…わたしたちよりまえにきた人たちのようにじゆうに主人公たちはつらいとき、まわりから受け入れられないとき、はるか先祖の古い知恵を思い、心の中で空をとびます。さまざまなルーツの人が生きるアメリカで、日本で、この本のメッセージが人と人との垣根を飛びこえるためのヒントとなるかもしれません。過去に生きた人のことを思い、いまの問題を考えることのできる絵本です。

<選定理由>

国際アンデルセン賞受賞作家ジャクリーン・ウッドソンによる『みんなとちがうきみだけ』からうまれたもう一つの物語。自分のよさを改めて考える強く美しいメッセージに、自分も空を自由に飛べる気持ちになります。



どんなイチゴも、みんなかわいい

葦原かも／作 中田いくみ／絵

【童心社】1,320円

アヤは想像力ゆたかな女の子。ミミズクやフクロウの図鑑を見るのが大好きで、目立つことや、女の子っぽくふるまうのは苦手です。そんなアヤの日常に大きな事件はおきないけれど、日々いろいろと考えることがあるのです。小学3年生の女の子の心情をユーモラスに語る3つのエピソードを通して、自分は自分のままでいいのだと理解し、少しずつ成長していく姿が爽やかに描かれます。

<選定理由>

空想の世界に浸ったり、自分自身や友達関係について悩んだりするこの時期に、そっと背中を押してくれる一冊。イチゴ一つひとつによさがあり、一番を決めなくてもよいのではないかと主人公の変化に共感できます。



「はやく」と「ゆっくり」

チャン・ホイチョン／文

シュイ・コワンコワン／絵

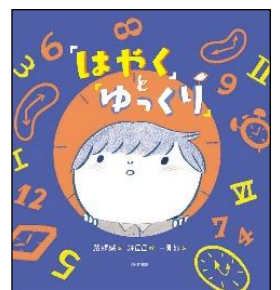
一青妙／訳

【光村教育図書】1,540円

ぼくは毎日、目が回るようにいそがしい。パパとママは、いつも「はやく」って言う。でも、おじいちゃんとおばあちゃんは、いつも「ゆっくり」って言う。みんな、「そうしないと たくさんのお金をなくしてしまうよ」って言うんだ。「はやく」と「ゆっくり」にはさまれて、ぼくは、どうすればいいのかわからない。ある日おじいちゃんが言った。「はやくてもゆっくりでも かまわない。自分のリズムを 見つけるんだよ」って。

<選定理由>

「はやくはやく」と急かされて毎日を過ごす子どもたち。「はやく」と「ゆっくり」にはさまれて悩むぼくにおじいちゃんが言った言葉には、大人も救われます。現代社会を生きるみんなに読んでほしい一冊です。



第69回 西日本 読書感想画 コンクール

九州・山口各県図書館協議会選定
指定図書

小学校高学年5・6年

※価格はすべて税込み価格

西日本読書感想画コンクールは、本を読み、感じたことや考えたこと、心に浮かんだイメージなどを絵に表現することで、読書への意欲を高め、豊かな感性、想像力を育むことを目的に毎年開催しています。前回は約30万点の応募があり、地方での開催としては最大規模を誇ります。



詳しくはこちら

ぼくの こころが うたいます！

アンドレア・ベイティー／作

デイヴィッド・ロバーツ／絵

かとうりつこ／訳

【絵本塾出版】1,760 円

アーロンにとって、文字を読むことはとても難しいことでした。アーロンの脳は「発話された音」と、「書かれた文字」や「ことば」を結びつけることがなかなかできないのです。でも、宿題で出された作文に一生懸命に取り組んで、それを勇気を出してクラスメイトに発表した時、アーロンに変化が現れます…。ひとにはそれぞれに得意なことや苦手なことがあり、識字障害はアーロンの個性の一部にすぎないのです。

<選定理由>

わたしたちにはそれぞれ得意なこと、苦手なことがあります。その人となり個性です。このお話を読んだひとり一人の児童がその想いを表現できたらと思います。



どすこい！

森竺こみち／作 佐藤真紀子／絵

【国土社】1,540 円

春の相撲大会、小学生離れたライバルと対戦して、こてんぱんに打ちのめされた凡と健太。秋の大会で絶対にリベンジしたい2人は、元力士のじいさんに相撲を教してもらおうと駄菓子屋「わしや」に行くがまったく相手にされず、知恵を絞る。無骨な元力士とのやり取りにとまどいながらも、少年たちは心を通わせ、秋の大会まで駆け抜けていく。一瞬の勝負に全力を賭けるその姿に、相撲を知らない読者ほど胸が熱くなる物語。

<選定理由>

相撲は児童にとって知る機会が少ないスポーツです。元力士「わしや」に教を乞います。無口な元力士わしやと小学生が相撲に夢中になります。力強い取組みの描写に期待できます。



じいちゃんの山小屋

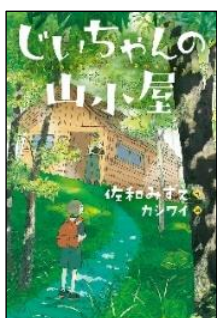
佐和みずえ／作 カシワイ／絵

【小峰書店】1,650 円

東京で生まれ育った小学6年生の航太。ある日、父親と大げんかになり、四国のじいちゃんと暮らすことになった。ところが、航太のじいちゃんは、村の人に変わり者扱いされるほど頑固で偏屈。そんなじいちゃんと、電気も、トイレもない、もちろんスマホも圏外の山小屋での二人暮らし……。便利な東京での暮らししか知らない航太に、たえられるのか!? 四国の豊かな自然に恵まれた里山でのサステナブルな暮らしが体験できる1冊。

<選定理由>

電気もお風呂もトイレもない、四方を山に囲まれた緑豊かな四国の山の中が舞台です。山小屋生活で、6年生の主人公の少年とじいちゃんとの心の交流と成長が描かれています。



おおなわ 跳びません

赤羽じゅんこ／作 マコカワイ／絵

【静山社】1,540 円

左足にハンディをもつ双葉が、おおなわ大会には出ないと宣言し、クラスメイトたちはざわつきます。「引きとめないなんてつめたいよ」「それってやさしさの押しつけじゃね?」「跳ぶ以外のやり方で参加は?」「おれだって跳びたくないけど?」と、立場の違いからぶつかる本音ももつとで…。できることも考え方もちがう仲間と、どうしたら一緒にやっていけるんだろう? とことん考えた7人の自分たちのための作戦が楽しく優しい物語。

<選定理由>

左足にハンディをもつ双葉が大綱大会には出ないと宣言します。クラスメイトたちは、双葉を支えたいけどその方法がわかりません。クラス仲間の挑戦と成長の物語です。



わたしの名前はオクトーバー

カチャ・ペーレン／作

こだまともこ／訳

【評論社】1,760 円

父さんと二人、森で半分自給自足のよう生きてきた少女オクトーバー。自分が「野生」であることをほこりに思っていた。が、十一歳の誕生日に、父さんがケガをして入院し、「母親とかいうひと」と都会で暮らすことになる。街の生活になじめず、全力で抵抗するオクトーバーだが、やがて友だちとよべる子に出会い、都会の中に大好きな場所も見つけ、かたくなだった心が開いていく。すぐれた作品にあたえられる英のカーネギー賞受賞作。

<選定理由>

森で暮らす主人公とその父、巣から落ちたメンフクロウの赤ちゃんを大切に育てています。父親が大怪我を負い入院したことで都会で暮らすこととなります。自然豊かな森の生活がイメージ豊かに描かれています。



かなたの if

村上雅郁／作 げみ／絵

【フレーベル館】1,650 円

ぼくらが夢見ることは、ぜんぶぜんぶ、ほんとうのこと——夢と現実のあわいにゆれる、ひと夏のガール・ミーツ・ガール! 友だちのいない香奈多と、友だちをなくした瑚子。ある夏、秘密の場所で奇跡的に出会ったふたり。願いがかなう「虹のしずく」を探して、ひとりぼっちの誰かの前に現れる黒ネコ、ドコカの物語を瑚子は香奈多と分かち合う。それぞれの物語をなぞるように重ねた「もしも」のはてで、ふたりが見つけた宝物とは?

<選定理由>

友だちのいない香奈多と友だちをなくした瑚子を黒猫ドコカが繋ぎ、2人の夢と現実が交錯します。「if」は「もしも」を夢見るわたしの気持ちを表しています。



第69回 西日本 読書感想画 コンクール

九州・山口各県図書館協議会選定 指定図書

中学校

※価格はすべて税込み価格

西日本読書感想画コンクールは、本を読み、感じたことや考えたこと、心に浮かんだイメージなどを絵に表現することで、読書への意欲を高め、豊かな感性、想像力を育むことを目的に毎年開催しています。今回は約30万点の応募があり、地方での開催としては最大規模を誇ります。



詳しくはこちら

ヤングタイマーズのお悩み相談室

石川宏千花／作 飯田研人／絵

【くもん出版】1,650円

友人関係や個性について悩む子や、世の中や大人たちに怒っている子、悩みがないことに悩む子まで。6人の中学生たちが抱える様々な悩みに、ラジオパーソナリティーがアドバイスをおくる「ヤングタイマーズのお悩み相談室」。二人のパーソナリティーの、ときに真剣、しばし脱線しがちなおしゃべりを聴いているうちに、ズバツとお悩み解決はできなくても、きっとなにかに気づくきっかけになる。そんなラジオを聴いてみませんか？

<選定理由>

中学生の日常生活から派生した思春期の悩みを分かり易い表現で伝えています。人と違うことに悩む子どもたちに「ありのままでもいい」とエールを送っているお話です。



ハルカの世界

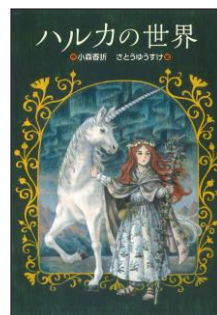
小森香折／作 さとうゆうすけ／絵

【BL出版】1,870円

中学1年生の遙は、毎日の生活にどことなく居心地の悪さを感じていた。そんなある日、遙は自分で描いた絵の世界へ移動してしまう。そこは4人の魔女が王国の平和を守る、夢の楽園「アウレリア」。しかし夢の楽園であるはずの世界に危機が迫り…。再び魔物が現れるという予言の年にあたっていたのです。2つの「現実の世界」と、2つの恋に揺れる少女を描いた、異色のファンタジー。

<選定理由>

絵に描いた夢の世界に移動する奇妙な体験をします。内容が分かり易く、また豊かな仮想が想像できる物語になっています。どんどん自分らしい夢のイメージが広がっていく物語です。ページ数も適切です。



あしたの幸福

いとうみく／著 松倉香子／絵

【理論社】1,540円

突然の父の死を受け、父の婚約者との微妙なつながりが生まれるなか、自分の家で暮らすことを望む雨音は、ふりきった選択をする。それは幼い頃に家を出た、産みの母に保護者になってもらうこと。それは「利用」「生きる術」とわりきり、自分の居場所を守ろうとする彼女がさわる幸せとは？ 家族とも友達とも違う、どんな名前もつかない間柄との日々の中で、本来交わらないはずだった関係は、彼女らだけの糸で鮮やかに紡がれていく。

<選定理由>

父親を亡くし自分の居場所を模索する中、産みの母親との再会を通して家族や関わりの人たちとの心の通いが描写されています。今を生きる中学生の揺れ動く心情を反映しています。



応募資格

九州・山口各県の小学校、中学校、高校の児童、生徒（全日制、定時制、通信制問わず）で、2005年4月2日以降に生まれた者。

課題

- ①指定図書の部：各学年別に主催者が指定した図書に対する読書感想画。高校生の指定図書はありません。
- ②自由図書の部：文学、自然科学、人文科学などその種類は問いません（ただし教科書、図鑑、辞典、雑誌、マンガ、写真集およびそれに準ずるものは不可）。日本国内で出版されている本に限ります。電子書籍・WEB上の作品は対象外です。なお、該当学年以外の指定図書は、自由図書の部で応募できます。

用紙・絵の具および大きさ

- ①用紙：画用紙、ケント紙、キャンパスボード（枠張りは不可）、マニラボール紙、ゴッホ紙など自由。
- ②絵の具：クレヨン、パステル、水彩、油絵の具など自由。版画、貼り絵なども可。
- ③大きさ：四つ切り（54cm×38cm）。1cm程度の誤差は可。それ以上は不可。規格未満のものは、必ずこの大きさの白画用紙を台紙にすること。規格に合わないものは失格になります。

注意事項

- ①応募作品ごとに次の2項目を必ず守ってください。
 - A.応募作品は所定の応募票（この応募要項の裏面にあります。同じ形式のものでも可）に必要事項を記入し、絵の上下（天地）に合わせて作品の裏面右上にのり付けしてください。
 - B.読んだ本のどんな点に感動したか、作画の動機または作画に当たって工夫、苦心したことなどを原稿用紙200字程度にまとめて作品の裏面に貼ってください。
- ②上記の項目に合わないものは失格となります。
- ③応募作品は未発表の作品に限ります。著作権は主催者側に帰属し、作品は返却しません。
- ④コンピューターグラフィックス（CG）の作品は不可とします。